平成２２年度　事務事業評価

整理番号
22-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	04	01	01
細事業名	郷土資料館管理運営事業					

担当部局	担当課長の氏名
教育委員会事務局	
担当課等	担当者の氏名
文化財保護課	吉田　誠
	橋本　勝行

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅳ　生涯学習都市
	計画項目　（施策）	⑤　歴史文化遺産の保全と活用
	施策方針	1　歴史資料館のネットワーク

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	京丹後市内の民俗資料を収蔵・公開するための資料館の維持管理運営を行う事業	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）
				年間入館者1,000人

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	市民および市外からの来訪者のために、豊富に残る市所蔵や寄贈を受けた民俗資料を適切に保管・公開し、文化財保護の普及啓発をはかる郷土資料館の維持管理運営を行った。普及啓発事業として、『商いと道具』などの企画展示を5回、網野郷土資料館まつりなどを開催した。また小規模な修繕として、床下の白蟻防除処理および玄関ポーチ・1階展示室床修繕を行った。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	年間入館者985人ということで、目標の1,000人にわずかに届かなかった

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	4	4		国庫支出金		
	7	1,472		府支出金		
	11	383		起債		
	12	98		分担金・負担金		
	13	595		その他	郷土資料館入館料	36
	14	112				
	16	95				
	18	22		一般財源		2,745
事業費合計		2,781		合計		2,781

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
▲	○　進捗している（できている）	理由	平成20年度年間入館者数に比べ、微減した。企画展示などを開催し、管内小学生の授業での見学は多いが、一般の入館者が少なく今後の検討課題である。昭和20年建築の旧木津小学校校舎を利用した建物で、建築から60年以上が経過し、施設の老朽化が進んでおり、修繕リニューアルが検討課題である	
	▲　少し遅れている（少しできていない）			
	×　遅れている（できていない）			
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった	理由	可能なものは長期継続契約を行うなど経費の節減に努めており、不要の予算はなく、削減の余地はない	
	▲　少し削減の余地があった			
	×　削減の余地があった			

ACTION

改善				
事業内容の方向性				
A	A　現状維持	理由	小中学校の地域学習の拠点施設としても活用しており、市内外からの来訪者が市内のひとむかし前の生活を知る上で重要な拠点施設である。	
	B　内容の見直し			
	C　統廃合・休止・終了			
事業規模の方向性				
A	A　事業拡大	理由	資料館職員の努力により企画展示を行ったり、施設の小修繕を行うなど、現在の施設を最大限活用する努力を行っている。施設の老朽化が進んでいるため、修繕必要箇所が増加しており、リニューアルと修繕が検討課題である。	
	B　現状維持			
	C　事業縮小			

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
22-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	04	02	01
細事業名	古代の里資料館管理運営事業					

担当部局	担当課長の氏名
教育委員会事務局	
担当課等	担当者の氏名
文化財保護課	吉田　誠
	橋本　勝行

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅳ　生涯学習都市
	計画項目　（施策）	⑤　歴史文化遺産の保全と活用
	施策方針	1　歴史資料館のネットワーク

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	京丹後市内の考古・歴史資料を収蔵・公開するための資料館の維持管理運営を行う事業	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）
				年間入館者6000人

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	市民および市外からの来訪者のために、収蔵資料（考古・歴史資料）を適切に保管・展示し、文化財保護の普及啓発をはかる施設として維持管理運営を行った。普及啓発事業として、企画展示4回、特別展示『丹後王国の精華』や古代の里まつりを開催した。平成21年度は、通常の維持管理のほか、小修繕として復原竪穴住居（弥生時代）入口屋根修繕、陶芸窯バーナー、の修繕、自動火災報知機の修繕を実施した。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	年間入館者4,118人

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	1	1,998		国庫支出金		
	4・7	3,449		府支出金		
	9	115		起債		
	11	2,561		分担金・負担金		
	12	174		その他	資料館入館料	658
	13	854			公有財産使用料	148
	14	301			雑入	265
	16	67		一般財源		8,448
事業費合計		9,519	合計			9,519

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか

▲	○　進捗している（できている）	理由	平成20年度年間入館者数に比べ、微減した。普及啓発事業として企画展示、特別展示を開催し、展示解説、無料開放日を開催しているが入館者が減少しており検討課題である。平成6年のオープンより15年が経過し、展示リニューアルや施設の修繕が必要となってきている
	▲　少し遅れている（少しできていない）		
	×　遅れている（できていない）		

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか

○	○　削減の余地がなかった	理由	可能なものは長期継続契約を行うなど経費の節減に努めており、不要の予算はなく、削減の余地はない
	▲　少し削減の余地があった		
	×　削減の余地があった		

ACTION

改善

事業内容の方向性

A	A　現状維持	理由	小中学校の地域学習の拠点施設としても活用しており、市内外からの来訪者が市内の歴史を知る上で重要な拠点施設である。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		

事業規模の方向性

A	A　事業拡大	理由	常設展示は、旧丹後町のものを引き継いだものに市内全域の資料を付加する形で拡充する努力を行っているが、リニューアルする必要がある。また施設の老朽化も進み、今後、修繕必要箇所が増加する。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
22-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	04	03	01
細事業名	指定管理施設運営事業					

担当部局	担当課長の氏名
教育委員会事務局	
担当課等	担当者の氏名
文化財保護課	吉田　誠
	横島　勝則

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅳ　生涯学習都市
	計画項目　（施策）	⑤　歴史文化遺産の保全と活用
	施策方針	3　文化財の保存と活用

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	琴引浜は国指定天然記念物及び名勝であり、鳴き砂は貴重な自然遺産であり、その重要性から琴引浜鳴き砂文化館を拠点として、自然環境保護の普及啓発を図る。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	入館者数　20,000人

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	琴引浜は、鳴き砂の浜として本市の豊かな自然環境のシンボルとなっており、この美しい自然と鳴き砂の自然環境保護の普及啓発のため、情報発信拠点として琴引浜鳴き砂文化館を管理運営する事業である。琴引浜の管理運営については、指定管理者制度により地元掛津区へ年間5959千円で委託した。また建物は日本ナショナルトラストの所有であり、年間1200千円で建物を借り受けている。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	21年度実績入館者数　12,684人

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	11	153		国庫支出金		
	12	6		府支出金		
	13	5,959		起債		
	14	1,200		分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		7,318
事業費合計		7,318		合計		7,318

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	入館者数は微減だが、新規事業（松林整備事業、宿泊体験学習）への協力等意欲的に取り組めた。

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	琴引浜鳴き砂文化館は平成13年にオープンし、開館以来入館者数は15,000人前後を推移し通常の同様の施設に比べて大きく減少していないが、普及啓発活動の取組によるものだと推定される。しかし指定管理制度による維持管理運営が厳しく、施設管理運営は今後の課題である。

ACTION

改善

事業内容の方向性			
A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	鳴き砂に関する学習施設としての存在意味は大きく、また新たに山陰海岸ジオパークの学習拠点として、整備を進めることも今後は必要である。

事業規模の方向性			
A	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	鳴き砂だけでなく、地質全般また環境保全など幅広い分野の学習施設として、事業展開が考えられる。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
22-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	06	01	01
細事業名	文化財保護審議会委員設置事業					

担当部局	担当課長の氏名
教育委員会事務局	
担当課等	担当者の氏名
文化財保護課	吉田　誠
	横島　勝則

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅳ　生涯学習都市
	計画項目　（施策）	⑤　歴史文化遺産の保全と活用
	施策方針	3　文化財の保存と活用

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	京丹後市の文化財を指定するために評価・判断をする諮問機関、また文化財保護行政に関する意見具申をする機関として設置	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）
				新規市文化財指定　4件

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	審議会を年4回開催。京丹後市内に数多くある文化財の中から、市指定文化財を調査研究した。また、委員の見識を高める研修会を実施した。委員研究記録の第1号を発刊した。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	21年度新市指定文化財　2件追加
		審議会開催　4回
		委員研究記録発行　1回

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	1	218		国庫支出金		
	9	166		府支出金		
	11	12		起債		
	13	38		分担金・負担金		
	14	10		その他		
				一般財源		444
事業費合計		444		合計		444

CHECK

評価	目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
	○	○　進捗している（できている）	理由	計画通り年4回の審議会開催で委員任期の1期2年間に指定文化財を2件追加指定できた。
		▲　少し遅れている（少しできていない）		
		×　遅れている（できていない）		
	効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	○	○　削減の余地がなかった	理由	審議会経費と研修経費のみ。
		▲　少し削減の余地があった		
		×　削減の余地があった		

ACTION

改善	事業内容の方向性			
	A	A　現状維持	理由	京丹後市文化財保護条例に基づいて設置された機関であり、今後とも設置は必要
		B　内容の見直し		
		C　統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性			
	B	A　事業拡大	理由	歴史的文化遺産を次世代に引き継ぐため必要な組織
		B　現状維持		
		C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
22-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	06	02	01
細事業名	文化財保護啓発事業					

担当部局	担当課長の氏名
教育委員会事務局	
担当課等	担当者の氏名
文化財保護課	吉田　誠
	橋本　勝行

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅳ　生涯学習都市
	計画項目　（施策）	⑤　歴史文化遺産の保全と活用
	施策方針	3　文化財の保存と活用
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	市民および市外からの来訪者に対して、市内にある指定文化財等の貴重な資料を見る機会を設け、あわせて講座開催により資料を読み・考える機会を設け、文化財に対する理解を深める
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	文化財博士の認定者数100人 企画展示・特別展示の開催による文化財の普及啓発の充実

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	市民および市外からの来訪者を対象に、『京丹後市史資料編　京丹後市の考古資料』発刊とタイアップした特別展示の開催および発刊記念シンポジウムを開催したほか、丹後古代の里資料館を活用した特別展示・コーナー展示を4回開催した。また市民を対象とした「京丹後史博士」育成講座を9回開催し、延べ159名の参加を得たほか、文化財セミナーを1回、丹後震災記念展を開催した。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	文化財博士等の認定者数3人 企画展示の実施4回　入館者3,344人、特別展示『丹後王国の精華』 入館者373人 丹後震災記念展　入館者171人

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	8	223		国庫支出金		
	9	112		府支出金		
	11	298		起債		
	12	408		分担金・負担金		
	14	5		その他	雑入	13
				一般財源		1,033
事業費合計		1,046		合計		1,046

CHECK

評価	目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか		
	○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由：文化財博士の認定者数が増加しておらず、今後の課題であるが、京丹後市史の考古資料編の発刊に併せて、特別展と記念シンポジウムを開催し、多数の参加者があった。文化財博士等認定者　3人、文化財博士認定者　延34人
	効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由：「京丹後史博士」育成講座や企画展示、特別展示については、指定文化財の資料の搬入・搬出等の特殊な業務を除いて、展示キャプション、解説などの資料については、職員による手作りのもので運営しており削減の余地はなかった。

ACTION

改善	事業内容の方向性		
	A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由：企画展示や文化財セミナーは、文化財全般や「京丹後市史」の成果を広く知っていただく機会として重要である。「京丹後史博士」育成講座は、文化財へのサポーターの裾野を広げるための事業として、今後も継続して実施する必要がある。
	事業規模の方向性		
	A	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由：企画展示や文化財セミナーは、文化財全般や「京丹後市史」の成果を広く知っていただく機会として重要であり、今後も継続して実施する必要がある。また、市史編さん事業の調査した成果を市民に知ってもらうための企画展示を広く検討する。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
22-6

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	06	03	01
細事業名	指定文化財等補助金					

担当部局	担当課長の氏名
教育委員会事務局	
担当課等	担当者の氏名
文化財保護課	横島　勝則

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅳ　生涯学習都市
	計画項目　（施策）	⑤　歴史文化遺産の保全と活用
	施策方針	3　文化財の保存と活用
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	郷土の貴重な文化財を管理維持するための事業を支援し、文化財所有者の経済的負担軽減を図る。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	事業件数　20件

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	京丹後市内の文化財を対象に修繕等の事業に対して補助金を交付。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	補助金交付件数14件　補助金2,181千円 補助金交付対象事業の事業費　総額約　17,195千円

●平成21年度決算

歳出			歳入		
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳 項目	名称	金額（千円）
	19	2,181	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		2,181
事業費合計		2,181	合計		2,181

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか

▲	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	京丹後市指定文化財等補助金は、交付要綱に基づき、指定文化財・未指定文化財の修理・補修等に対して補助金を交付するものである。文化財の修理・補修であるという性格上、文化財の価値を損なわない修理が原則である。採択基準の厳格化により件数が低下しているのが実情である。

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか

○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	文化財の修理・補修であるということより、文化財の価値を損なわないことが事業採択の原則である。従って、事業の採択基準を厳格にし事業内容を精査した上での補助金の交付である。件数が減少したが、事業内容については各事業とも精査しており削減の余地はない。

ACTION

改善

事業内容の方向性

A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	文化財の所有者にとって、この補助金は維持管理のために必要なもの

事業規模の方向性

B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	当事業補助金の対象文化財は、指定文化財だけでなく一定の基準を要する未指定文化財を対象としている。対象とする文化財は極めて多岐、多数にわたり貴重な文化財の保全の観点から十分な予算措置が必要である。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
22-7

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	06	03	02
細事業名	史跡等維持管理事業					

担当部局	担当課長の氏名
教育委員会事務局	
担当課等	担当者の氏名
文化財保護課	吉田　誠
	横島　勝則

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅳ　生涯学習都市
	計画項目　（施策）	⑤　歴史文化遺産の保全と活用
	施策方針	3　文化財の保存と活用

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	郷土の貴重な文化財を管理維持する。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	市内遺跡　16件 指定文化財の看板整備

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	京丹後市内の国･府指定文化財の草刈等の維持管理、京都府選定文化的景観「久美浜湾カキの養殖景観」案内看板の設置
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	市内遺跡草刈り等維持管理　16件　1,089千円。　主要な史跡の草刈り等の維持管理に史跡の見学等に便宜を図り、併せて史跡の維持管理を通じて文化財愛護につながる。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	11	215		国庫支出金		
	12	32		府支出金		238
	13	1,110		起債		
	14	3		分担金･負担金		
	15	966		その他		
				一般財源		2,088
事業費合計		2,326		合計		2,326

CHECK

評価				
目標達成度･･･DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	遺跡の草刈り等の維持管理については、毎年実施することが必要な事業であり、計画に従って実施した。遺跡の管理を通じて見学の利便を図り、併せて作業を通じて文化財愛護につながる。	
効率性･･･DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	遺跡の草刈り等の管理については、可能なものは地元に草刈り委託して経費の節減に努めており、削減の余地はなかった。	

ACTION

改善				
事業内容の方向性				
A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合･休止･終了	理由	指定文化財の看板整備も不十分な現実があり、地元からの要望も多い。一度に整備は無理だが、今後も計画的に続けていく必要がある。	
事業規模の方向性				
B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	維持管理という本事業の目的から現状維持が絶対必要。事業縮小になれば維持管理ができなくなる。	

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
22-8

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	06	05	01
細事業名	文化財整理事業					

担当部局	担当課長の氏名
教育委員会事務局	
担当課等	担当者の氏名
文化財保護課	横島　勝則

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅳ　生涯学習都市
	計画項目　（施策）	⑤　歴史文化遺産の保全と活用
	施策方針	3　文化財の保存と活用
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	郷土の貴重な文化資料を整理し、活用を図る。
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	市内の写真資料のデジタル化、市内の民俗資料の整理

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	未整理の写真資料のデジタルデータ化のため、臨時職員を雇用し、週3日の仕事を5月から12月にかけて実施した。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	デジタル化資料点数　8,059点

●平成21年度決算

歳出			歳入		
予算科目	節	金額（千円）	項目	名称	金額（千円）
	7	480	国庫支出金		
	11	139	府支出金		
	12	2	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		621
事業費合計		621	合計		621

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている）	理由	20年度に比べ、デジタル化の点数も倍増している。
	▲　少し遅れている（少しできていない）		
	×　遅れている（できていない）		
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○	○　削減の余地がなかった	理由	事業の執行については、文化財作業に従事経験を有する臨時職員を雇用し、作業効率の点でも予算執行率もほぼ100%であり、削減の余地はない。
	▲　少し削減の余地があった		
	×　削減の余地があった		

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
A	A　現状維持	理由	行政所有の写真資料だけでも未整理のものが多く、デジタル化できれば文化財啓発活動にも有効に活用できる。
	B　内容の見直し		
	C　統廃合・休止・終了		
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大	理由	未整理の写真資料は数多く、計画的な実施が必要。
	B　現状維持		
	C　事業縮小		

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
22-9

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	06	06	01
細事業名	遺跡整備事業					

担当部局	担当課長の氏名
教育委員会事務局	
担当課等	担当者の氏名
文化財保護課	吉田　誠
	岡林　峰夫

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅳ　生涯学習都市
	計画項目　（施策）	⑤　歴史文化遺産の保全と活用
	施策方針	3　文化財の保存と活用

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	京丹後市に所在する重要な史跡等について、保存を図り、市内外の人々にとって交流・学習の資源へ有効活用するよう環境整備する。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	遺跡環境整備を1ヶ所行なう。『丹後王国』とも称される国指定史跡等の整備を行い京丹後市民の郷土に対する誇りを高め、観光資源としても活用する。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	平成21年度は、墳丘裾が一部崩落した国指定史跡・赤坂今井墳墓の緊急復旧工事を実施した。あわせて、国指定史跡・網野銚子山古墳の墳丘部分の下草刈りを実施した。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	赤坂今井墳墓の墳丘の保全をおおむね図ることができた。、網野銚子山古墳の墳丘の特徴を視覚的にとらえることが可能となった。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	9	13		国庫支出金		
	11	18		府支出金		
	13	247		起債		
	15	645		分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		923
事業費合計		923		合計		923

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか

▲	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	発掘調査事業の調査期間が延長したことにより、整備実施年度計画についても変更が必要となっている。

効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか

○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	現状を維持するため必要最低限の環境整備費を計上している。

ACTION

改善

事業内容の方向性

B	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	京丹後には『丹後王国』とも称される極めて多くの国指定史跡等が存在する。調査の実施時期、整備年次計画を見直す必要がある。

事業規模の方向性

A	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	発掘調査事業の進捗により、網野銚子山古墳の環境整備を検討する段階に移りつつあるため、事業費は拡大することが見込まれる。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
22-10

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	06	07	01
細事業名	遺跡発掘調査事業					

担当部局	担当課長の氏名
教育委員会事務局	
担当課等	担当者の氏名
文化財保護課	岡林　峰夫

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅳ　生涯学習都市
	計画項目　（施策）	⑤　歴史文化遺産の保全と活用
	施策方針	3　文化財の保存と活用

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	京丹後市を代表する遺跡を効果的に整備・保護を進めるための資料を得るため、また、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り文化財の保護活用につなげるため、発掘調査等を実施する。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	整備目的の発掘調査・測量調査を3ヶ所実施し、整備のプランを検討する材料を得る とともに調査成果の公開により、文化財保護思想の啓発に努める。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	整備目的で実施した網野銚子山古墳範囲確認調査については、陪塚である寛平法皇陵古墳周辺及び小銚子古墳の範囲確認調査を実施。両古墳の周辺それぞれにおいて、古墳築造段階での土地改変と見られる地山削り出し部分を確認。古墳周辺の造作様相の一部を知り得た。 開発に伴う試掘調査として実施した松山遺跡試掘調査については、河岸段丘の山裾に近い上段部分で溝状遺構、土壙、柱穴群を確認。溝状遺構上面から古墳時代および飛鳥・奈良時代の土器片が出土し、遺跡の時期と範囲を推定する手がかりを得た。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	網野銚子山古墳については、追加指定を行うなど保護を図るべき範囲をほぼ確定でき 松山遺跡については、今後本調査を行うべき範囲を絞り込むことができた。

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	4	3		国庫支出金	国宝重要文化財等保	2,000
	7	1,055		府支出金	文化財緊急保存費補	1,000
	8	28		起債		
	9	82		分担金・負担金		
	11	543		その他		
	13	2,070				
	14	318				
				一般財源		1,099
事業費合計		4,099		合計		4,099

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
▲	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	調査委員会等の指導により、確認調査の範囲を追加したことによる調査期間の超過 開発行為が発生したことに伴う発掘調査の実施による事業量の増加	
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	補助対象となる、調査に必要な最低限の予算で事業執行しており、削減の余地はなかった。	

ACTION

改善			
事業内容の方向性			
B	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	調査の実施時期、整備年次計画を見直す必要がある。
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	普及啓発にもつながる、基礎的調査の事業であり、開発行為に対応するためにも事業は継続して行う必要がある。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
22-11

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	06	08	01
細事業名	稲葉家資料展示活用事業					

担当部局	担当課長の氏名
教育委員会事務局	
担当課等	担当者の氏名
文化財保護課	吉田　誠
	橋本　勝行

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅳ　生涯学習都市
	計画項目　（施策）	⑤　歴史文化遺産の保全と活用
	施策方針	3　文化財の保存と活用
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	市民および市外からの来訪者に対して、稲葉家資料の適切な保管・展示をはかり、「豪商稲葉本家」内蔵を活用し展示・公開を行う
平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）	企画展示2回、講演会2回 開催して稲葉家資料の展示公開につとめる。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	稲葉家資料の適切な保管をはかるため、「豪商稲葉本家」内蔵の一つを収蔵庫として用いることができるように、木製棚を設置する工事を行った。 また、内蔵を用いて、年間を通じた展示を実施し、市民および市外からの来訪者に対して資料の公開を行い、あわせて展示解説リーフレット「結城素明と稲葉家」「稲葉束・喬」を作成した。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	企画展示・コーナー展示を年間4回開催し、調査した稲葉家資料の一般への公開を行っ

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	7	141		国庫支出金		
	11	140		府支出金		
	15	297		起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		578
事業費合計		578		合計		578

CHECK

評価

目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	21年度は講演会を開催できなかったが、企画・コーナー展示を4回開催し、市民および市外からの来訪者に対して資料の公開を行うことができた。また展示解説リーフレットを2冊作成できた。
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	展示については、職員による手作りのもので実施しており、経費削減の余地はなかった。

ACTION

改善

事業内容の方向性			
A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	適切な資料管理と公開を行う必要があり、現状維持で進めたい。
事業規模の方向性			
B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	木製棚設置工事が終了したため、展示経費のみを計上しており、現状維持で進めたい。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
22-12

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	06	04	01
細事業名	市史編さん事業					

担当部局	担当課長の氏名
教育委員会事務局	
担当課等	吉田　誠
文化財保護課	担当者の氏名
	小山元孝

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅳ　生涯学習都市		
	計画項目　（施策）	⑤　歴史文化遺産の保全と活用		
	施策方針	4　市史編さんの取り組み	4　市史編さんの取り組み	
事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	合併をして広大な面積を持つ当市において、市としての一体性を高めるために事業を開始することになった。これまでの自治体史では、歴史的な記述が中心になっているが、豊かな自然環境を持つ当市において、そういった面も強調できる内容にしたいと考えている。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入） 本文編2冊と資料編12冊の刊行する。

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	住民一般を対象に、京丹後市史資料編『京丹後市の考古資料』（21繰越事業）、『峯山藩関係史料集』を刊行した。3/22には『京丹後市の考古資料』刊行を記念して、編さんに携わった先生方をお招きしてシンポジウムを開催し約150名の参加者を得た。また、完成した書籍を市民局、地域公民館等で販売し、市内外の図書館等にも配布し活用されている。その他、各専門部の調査を実施した。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	資料編の刊行　『京丹後市の考古資料』900冊、『峯山藩関係史料集』500冊 平成26年度までに本文編　2巻、資料編12巻刊行予定

●平成21年度決算

歳出			歳入			
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	1	2,538		国庫支出金		
	4	217		府支出金		
	8	925		起債		
	9	1,276		分担金・負担金		
	11	1,408		その他		
	12	50				
	13	650				
	14	437		一般財源		7,501
事業費合計		7,501		合計		7,501

CHECK

評価	目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか			
	○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	『京丹後市の考古資料』の刊行が少し遅れたものの、『峯山藩刊行史料集』の刊行は予定通り行ない、以降の書目についても刊行に向けて調査を行なっているから。
	効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	刊行物の出版に際しては入札を行い、請負減が出たが、その他は削減の余地はなかった。調査を大学の授業の一環で行なうことにより、調査費の削減を検討することも必要。

ACTION

改善	事業内容の方向性			
	A	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	当初の計画通りの刊行を行うため、現状のまま事業を継続する。
	事業規模の方向性			
	B	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	当初の計画通りの刊行を行うため、現状のまま事業を継続する。

平成２２年度　事務事業評価

整理番号
38-33

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	07	10	01
細事業名	市制5周年記念式典開催事業					

担当部局	担当課長の氏名
教育委員会事務局	
担当課等	担当者の氏名
文化財保護課	吉田　誠
	橋本　勝行

PLAN

総合計画（前期基本計画）	基本方針　（政策）	Ⅶ　計画推進のために
	計画項目　（施策）	①　効率的な行財政運営の推進
	施策方針	

事業の目的	（どのような目的で事業を実施するか）	市制5周年記念式典開催事業の記念ステージ開催事業については、市制5周年を記念して、「京丹後市の歌」制定を記念して、市民芸術家、各種文化サークルなどで活動する市民の舞台発表と映像とによる記念ステージを開催して京丹後市の発展飛翔をめざす。	平成26年度事業の効果目標	（平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入）

DO

平成21年度事業の実績	（何を対象に、何をしたか）	市制5周年記念式典の招待者、関係者に対して市制5周年記念式典開催事業として、「京丹後市の歌」制定を記念して、市民合唱サークル、児童合唱団により京丹後市の歌を披露してもらい、また京丹後市出身、在住の文化団体やアーチストの舞台発表と京丹後市の風景や祭り、文化財、これまでの歴史の映像を上映した。
平成21年度事業の効果	（実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入）	制定された京丹後市の歌を、市民合唱グループ、児童合唱団、テノール歌手に歌って披露してもらい、制定された京丹後市の歌を市民に聴いてもらえた。

●平成21年度決算

歳出			歳入		
予算科目	節	金額（千円）	財源内訳	項目	名称	金額（千円）
	8	515		国庫支出金		
	11	99		府支出金		
	13	501		起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		1,115
事業費合計		1,115		合計		1,115

CHECK

評価				
目標達成度・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）が、PLAN（事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標）の達成に向けて順調に進捗したか				
○	○　進捗している（できている） ▲　少し遅れている（少しできていない） ×　遅れている（できていない）	理由	丹後6町が合併して、誕生した京丹後市の5年を振り返り、次の5年に向けての発展の意識啓発につながった。
効率性・・・DO（平成21年度事業の実績、あるいは効果）に対して、コスト削減の余地がなかったか				
○	○　削減の余地がなかった ▲　少し削減の余地があった ×　削減の余地があった	理由	外部からプロの芸術家を呼んで、舞台発表をおこなうのではなく、京丹後市の出身者または在住している市民の文化サークル団体等による、手作りの舞台発表を開催した。

ACTION

改善				
事業内容の方向性				
C	A　現状維持 B　内容の見直し C　統廃合・休止・終了	理由	市制5周年記念事業の名称が示すとおり、5周年、10周年の節目の年に5周年、10周年を振り返り、次につながるように開催するものであり、事業としては平成21年度の単年度で終了するものである。
事業規模の方向性				
C	A　事業拡大 B　現状維持 C　事業縮小	理由	事業としては、5周年、10周年の節目の年に開催するものである。